平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年５月１日

上場会社名	ロイヤルホールディングス株式会社		上場取引所　東・福
コード番号	8179　　ＵＲＬ　http://www.royal-holdings.co.jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）菊地　唯夫	
問合せ先責任者	（役職名）財務企画部ＩＲ室長	（氏名）宮川　義朗	ＴＥＬ　03-5707-8873
四半期報告書提出予定日	平成25年５月14日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	28,083	4.6	598	197.3	591	227.6	285	－
24年12月期第１四半期	26,838	5.8	201	－	180	－	△107	－

（注）包括利益　25年12月期第１四半期　1,206百万円（459.3%）　24年12月期第１四半期　215百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	7.39	－
24年12月期第１四半期	△2.80	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第１四半期	77,054	41,485	53.0
24年12月期	76,759	40,741	52.3

（参考）自己資本　25年12月期第１四半期　40,876百万円　24年12月期　40,135百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	0.00	－	12.00	12.00
25年12月期	－				
25年12月期（予想）		0.00	－	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	57,000	4.6	900	51.9	1,000	34.2	400	63.1	10.37
通期	117,000	1.8	3,300	25.8	3,500	24.2	1,400	23.1	36.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　有
④　修正再表示　　：　無

（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、［添付資料］４ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期１Ｑ	40,804,189株	24年12月期	40,804,189株
②　期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	2,238,464株	24年12月期	2,238,392株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期１Ｑ	38,565,766株	24年12月期１Ｑ	38,566,214株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、［添付資料］４ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

２．本資料の［サマリー情報］、［添付資料］２ページ「連結経営成績に関する定性的情報」及び10ページ「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

頁
1．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（3）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
3．四半期連結財務諸表 …… 5
（1）四半期連結貸借対照表 …… 5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書（第１四半期連結累計期間） …… 7
四半期連結包括利益計算書（第１四半期連結累計期間） …… 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（4）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（6）セグメント情報等 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権下における金融緩和をはじめとした各種政策など経済成長への期待感から円安や株価上昇もあり、輸出関連企業を中心に生産活動の持ち直しや個人消費の持ち直しの動きなど、景気回復の兆しが見られたものの、電気料金の値上げ、原材料価格の上昇といった国内景気の下振れ懸念があることから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当外食業界におきましては、消費マインドに改善の兆しが見られるものの、企業間における顧客確保の競争は激しさを増しており、当業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループでは、経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、昨年度より持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2014」の実現に努めてまいりました。その２年目にあたる当連結会計年度におきましては「成長戦略の確実な実施」をキーワードに６つの事業戦略（①「ロイヤルブランドの再構築」②「成長エンジンの育成」③「収益基盤の拡大」④「時代対応業態の開発と進化」⑤「事業開発機能の強化」⑥「M&Aの活用・海外への進出」）と２つのインフラ戦略（①「インフラの強化とグループシナジーの追求」②「効率経営体への転換」）を骨子とした各種経営施策を着実に進めております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は28,083百万円（前年同期比＋4.6%）、営業利益は598百万円（前年同期比＋197.3%）、経常利益は591百万円（前年同期比＋227.6%）となりました。また、特別損益として受取補償金53百万円を特別利益に、固定資産除売却損等78百万円を特別損失に計上したほか、法人税等278百万円を計上しており、これらの結果、当第１四半期連結累計期間の四半期純利益は285百万円（前年同期四半期純損失107百万円）となりました。

セグメント別の概況については、次のとおりであります。

（外食事業）

当社グループの基幹である外食事業におきましては、ホスピタリティ・レストラン「ロイヤルホスト」、天丼・天ぷら専門店「てんや」、ピザレストラン「シェーキーズ」、サラダバー&グリル「シズラー」などのチェーン店のほか、ビアレストラン、カフェ、各種専門店等の多種多様な飲食業態を展開しております。当第１四半期連結累計期間におきましては、「カウボーイ家族」４店舗、「てんや」２店舗など、業態転換を含めて10店舗を出店いたしました。

主力の「ロイヤルホスト」では、コンセプトである「コックが作る家庭では味わえない、価値ある料理の提供」を実現するために、人材の育成とともに既存店のイメージ改装と新厨房設備の導入拡大、「カウボーイ家族」への転換を継続してまいりました。

また、「ロイヤルホスト」の進化の一類型としてロイヤルホスト住吉店を次世代対応型の「カフェ・ロイヤル・パーク住吉店」に転換するとともに、ロイヤルホストとしては５年ぶりの新規出店となる「ロイヤルホストCELEO八王子店」を開店いたしました。

以上の結果、既存店舗における来店客数の増加と客単価の上昇による売上増に加え、新規出店と業態転換による増収効果により、売上高は14,269百万円（前年同期比＋5.9%）、経常利益は653百万円（前年同期比＋91.0%）となりました。

（コントラクト事業）

コントラクト事業におきましては、法人からの委託等により、空港ターミナルビル、高速道路サービスエリア、大型商業施設、オフィスビル、介護施設、百貨店、ゴルフ場等において、それぞれの立地特性に合わせた多種多様な飲食業態を展開しております。当第１四半期連結累計期間におきましては、新規に６店舗の受託営業を開始するなど事業の拡大に努めてまいりました。前期および当期における新規出店による売上増のほか、空港ターミナルビルの利用者増加に伴う売上増とその他の既存施設における来客数が底堅く推移したものの、新規受託施設等に係る出店コストの増加などがあったことから、売上高は7,146百万円（前年同期比＋3.3%）、経常利益は211百万円（前年同期比△21.8%）となりました。

（機内食事業）

機内食事業におきましては、国際情勢や為替変動等の影響を受けながらも新規路線の受託獲得により売上増加となりましたが、既存就航路線における契約内容の見直しや新規受託準備に係る費用増などがあったことから、売上高は1,851百万円（前年同期比＋2.5%）、経常利益は204百万円（前年同期比△45.0%）となりました。

（ホテル事業）

ホテル事業におきましては、前期３月に開業した「リッチモンドホテル浅草」が売上増加に寄与するとともに、既存ホテルが高い客室稼働率を持続していることなどにより、売上高は4,156百万円（前年同期比＋6.0％）、経常利益は207百万円（前年同期経常損失△40百万円）となりました。

（食品事業）

食品事業におきましては、主に当社グループの外食事業とコントラクト事業における食品製造、購買、物流業務等の外食インフラ機能を担っているほか、一部グループ外企業向け製品の製造も行っております。当第１四半期連結累計期間におきましては、主に外食事業を中心としたグループ内向け食品製造の増加に伴い、売上高は1,990百万円（前年同期比＋5.5％）、経常利益は57百万円（前年同期比＋30.9％）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ295百万円増加し77,054百万円となりました。内訳は、流動資産が1,012百万円減少し、固定資産が1,308百万円増加しております。流動資産の減少は、季節的な要因等による受取手形及び売掛金の減少479百万円、未収入金の減少等による、その他流動資産の減少564百万円などによるものであります。また、固定資産の増加は、時価の上昇等により、投資有価証券の帳簿価額が1,112百万円増加したことなどによるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ447百万円減少し35,569百万円となりました。内訳は、流動負債が186百万円増加し、固定負債が633百万円減少しております。流動負債の増加は、未払法人税等の減少534百万円、未払金の減少等による、その他流動負債の減少738百万円があった一方、短期借入金が1,400百万円増加したことなどによるものであります。また、固定負債の減少は長期借入金が585百万円減少したことなどによるものであります。純資産は、その他有価証券評価差額金が918百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ743百万円増加し41,485百万円となりました。これらの結果、自己資本は40,876百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.7ポイント上昇し53.0％となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ292百万円増加し、5,256百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第１四半期連結累計期間に比べ432百万円収入が増加し、1,447百万円の収入となりました。当第１四半期連結累計期間の法人税等及び預り源泉税の支払前のキャッシュ・フロー（収入）は、前第１四半期連結累計期間に比べ598百万円増加し、2,251百万円の収入となりました。また、法人税等及び預り源泉税の支払によるキャッシュ・フロー（支出）は、前連結会計年度において連結子会社が当社へ支払った配当金に係る預り源泉税135百万円を、当第１四半期連結累計期間に納付したことなどにより166百万円増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第１四半期連結累計期間に比べ1,051百万円支出が増加し、1,131百万円の支出となりました。これは、当第１四半期連結累計期間において、差入保証金の増減額（収入）が847百万円減少し、また、有形固定資産の取得による支出が369百万円増加したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第１四半期連結累計期間では71百万円の収入でしたが、当第１四半期連結累計期間では23百万円の支出となりました。これは、当第１四半期連結累計期間における配当金の支払額が、前第１四半期連結累計期間に比べ77百万円増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期（平成25年１月１日～平成25年12月31日）第２四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成25年２月14日に公表したものから修正をしております。詳細につきましては、本日（平成25年５月１日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は、「天候」「景気動向」等の様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,964	5,256
受取手形及び売掛金	4,498	4,018
たな卸資産	1,884	1,775
繰延税金資産	1,007	851
その他	3,544	2,980
貸倒引当金	△15	△11
流動資産合計	15,883	14,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,831	9,857
土地	11,918	11,918
リース資産（純額）	8,416	8,304
その他（純額）	4,036	4,426
有形固定資産合計	34,202	34,506
無形固定資産		
のれん	298	250
その他	490	478
無形固定資産合計	789	729
投資その他の資産		
投資有価証券	7,290	8,403
差入保証金	17,341	17,286
繰延税金資産	1,016	1,033
その他	243	233
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	25,882	26,947
固定資産合計	60,875	62,183
資産合計	76,759	77,054

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,255	3,096
短期借入金	900	2,300
1年内返済予定の長期借入金	4,608	4,382
未払法人税等	734	199
引当金	483	928
その他	8,683	7,944
流動負債合計	18,665	18,851
固定負債		
長期借入金	4,975	4,390
リース債務	8,511	8,419
繰延税金負債	6	105
引当金	267	267
資産除去債務	3,259	3,217
その他	331	317
固定負債合計	17,351	16,717
負債合計	36,017	35,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,676	13,676
資本剰余金	23,708	23,708
利益剰余金	5,320	5,142
自己株式	△2,724	△2,724
株主資本合計	39,981	39,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154	1,073
その他の包括利益累計額合計	154	1,073
少数株主持分	605	608
純資産合計	40,741	41,485
負債純資産合計	76,759	77,054

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	26,335	27,573
売上原価	8,291	8,795
売上総利益	18,043	18,778
その他の営業収入	502	509
営業総利益	18,546	19,287
販売費及び一般管理費	18,345	18,689
営業利益	201	598
営業外収益		
受取配当金	10	10
持分法による投資利益	20	39
協賛金収入	6	6
その他	67	64
営業外収益合計	105	121
営業外費用		
支払利息	114	103
その他	11	25
営業外費用合計	126	128
経常利益	180	591
特別利益		
受取補償金	－	53
特別利益合計	－	53
特別損失		
固定資産除売却損	17	63
減損損失	30	14
関係会社株式取得に係る損失	49	－
特別損失合計	97	78
税金等調整前四半期純利益	83	566
法人税等	212	278
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△128	287
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△20	2
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△107	285

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△128	287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344	918
その他の包括利益合計	344	918
四半期包括利益	215	1,206
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	236	1,203
少数株主に係る四半期包括利益	△20	2

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	83	566
減価償却費	937	927
のれん償却額	48	48
減損損失	30	14
引当金の増減額（△は減少）	429	448
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	114	103
持分法による投資損益（△は益）	△20	△39
固定資産除売却損益（△は益）	17	63
関係会社株式取得に係る損失	49	－
売上債権の増減額（△は増加）	429	479
たな卸資産の増減額（△は増加）	65	109
仕入債務の増減額（△は減少）	△262	△158
その他	△155	△207
小計	1,755	2,344
利息及び配当金の受取額	12	12
利息の支払額	△115	△104
法人税等の支払額	△637	△668
預り源泉税の支払額	－	△135
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,015	1,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△713	△1,083
関係会社株式の取得による支出	△167	－
差入保証金の増減額（△は増加）	909	61
店舗閉鎖等による支出	△48	△90
その他	△61	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	△1,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,500	1,400
長期借入金の返済による支出	△908	△811
配当金の支払額	△385	△462
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△131	△149
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	71	△23
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,006	292
現金及び現金同等物の期首残高	5,370	4,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,377	5,256

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（平成24年１月１日から平成24年３月31日まで）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結財務諸表計上額（注）３
	外食事業	コントラクト事業	機内食事業	ホテル事業	食品事業	計				
売上高（注）４										
外部顧客への売上高	13,366	6,913	1,793	3,904	15	25,993	844	26,838	－	26,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	102	7	13	16	1,871	2,011	45	2,056	△2,056	－
計	13,469	6,920	1,806	3,921	1,887	28,005	889	28,894	△2,056	26,838
セグメント利益又は損失(△)	341	270	371	△40	44	988	10	998	△818	180

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売、不動産賃貸等の事業を含んでおります。
２ セグメント利益又は損失(△)の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
３ セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
４ 売上高には、その他の営業収入を含めております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「コントラクト事業」セグメントにおいて、処分を予定している事業資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は29百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（平成25年１月１日から平成25年３月31日まで）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	連結財務諸表計上額（注）３
	外食事業	コントラクト事業	機内食事業	ホテル事業	食品事業	計				
売上高（注）４										
外部顧客への売上高	14,155	7,139	1,836	4,146	11	27,289	793	28,083	－	28,083
セグメント間の内部売上高又は振替高	114	7	15	10	1,979	2,126	42	2,169	△2,169	－
計	14,269	7,146	1,851	4,156	1,990	29,416	836	30,252	△2,169	28,083
セグメント利益	653	211	204	207	57	1,334	53	1,387	△796	591

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額は全社費用であり、主にセグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

４　売上高には、その他の営業収入を含めております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。